

研究課題名	中枢気道に近接した肺内病変に対する EBUS-TBIC の有効性・実施可能性を検討する後向き観察研究
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学において、中枢気道に近接した肺内病変に対する EBUS-TBIC ( endobronchial ultrasound-guided transbronchial intrapulmonary cryobiopsy: 超音波気管支鏡ガイド下経気管支クライオ肺内生；超音波気管支鏡によるリアルタイムガイド下で病変部の一部を瞬間的に-89 度まで凍結させ、組織標本を採取する生検方法) の診断的有効性と実施可能性、安全性を検討します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2030 年 1 月 31 日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2023 年 3 月~2024 年 12 月に大阪公立大学医学部附属病院呼吸器内科で、原発性肺癌が疑われ中枢気道に近接した肺内病変の診断のために、EBUS-TBIC を行われた年齢 20 歳以上の方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【腫瘍組織（病理プレパラート）】 診療情報等：【患者基本情報(年齢、性別、検査目的、喫煙歴、既往歴、CT 画像所見)、病理検体情報(組織診および細胞診結果、検体サイズ、挫滅の程度)、気管支鏡処置情報(内視鏡術中エコー所見)】
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科呼吸器内科学のみで行います。 【研究責任者】中井俊之
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや組織標本の情報は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 呼吸器内科 担当者氏名：中井 俊之 電話番号：06-6645-3916 メールアドレス：r21950j@omu.ac.jp